新メールホスティングサービスのご案内

1　新サービスの概要

情報基盤センターの MailHosting、東京大学情報基盤センター 学内組織向けメールサーバは、クラウドサービスを用いた新たなサービスの運用を、2020 年 3 月に開始しました。

新サービスは ECCS クラウドメール（GSuite for Education）を用いており、MailSuite を用いた以前のサービス（以下「旧サービス」という）と比較して、以下の特徴があるのでご注意ください。

- メールサービスとしての機能は、ECCS クラウドメール（Gmail）と同じ
- サービスの利用には、原則として ECCS クラウドメールのアカウントが必要
- 組織ごとのメールアドレスは、ECCS クラウドメールのアカウントに対する「エイリアス」として設定
- 組織ごとのドメイン管理のために、ドメイン管理インタフェースを提供

ECCS クラウドメールをご利用できない方には、「転送」サービスを提供します。転送サービスは組織ごとのドメインの特定のメールアドレスへのメール全てを、ドメイン管理者が設定する外部のメールアドレスに転送できます。但し、組織ごとのドメインのメールアドレスからメールを送信することはできません。

2　ドメイン管理インタフェースについて

エイリアス、転送サービス及びグループの管理（登録、変更、削除など）の機能は、新サービスの Web インタフェースとして提供します。

新サービスの Web インタフェースへのログインには、ECCS クラウドメールのアカウントを使用します。また、2 段階認証の設定が必須となります。ドメイン管理者の方は ECCS クラウドメールのアカウントを取得して、2 段階認証プロセスでログインできるように準備してください。

3　利用負担金について

ECCS クラウドメールのアドレスに対して割り当てた、エイリアスの数に応じた負担金となります。転送サービスやグループ機能の利用については、負担金は必要ありません。また、ECCS クラウドメールの利用自体には負担金は掛かりません。詳しくは MailHosting の Web サイトをご覧ください。

4　旧サービスからの移行方法

旧サービスからの移行時には作業が必要となります。以下に作業の概要をご紹介します。詳細については、MailHosting の Web サイトで公開する移行マニュアルをご覧ください。

4.1 ドメイン管理者

以下の作業が必要となります。

メールアカウントの登録
組織ごとのドメインの DNS の登録
組織ごとのドメインの SPF の設定
組織ごとのドメインの MX レコードの設定

4.1.1 メールアカウントの登録

組織ごとのドメインに存在するメールアドレスひとつひとつにつきまして、どのように移行するかを選択してください。移行種別としては以下の３つがあります。

A） ECCS クラウドメールで、一般ユーザが利用中のメールアカウントに対して、ドメイン管理者が設定するエイリアス（以下「エイリアス」という）

B） 一般ユーザが利用中の外部メールアドレス宛に、ドメイン管理者が設定する転送サービス（以下「転送」という）

C） ドメイン管理者が作成して一般ユーザが管理可能な Google グループ機能（以下「グループ」という）

旧サービスのメールアカウントのうち、admin グループと user グループは新サービスのエイリアスもしくは転送のいずれかになります。旧サービスの mlgrp グループと Alias については新サービスのグループになるとお考えください。新旧サービスのアカウントの対応については、表 1 をご覧ください。

A）エイリアス

新サービスでは、組織ごとのドメインのメールアドレスを、ECCS クラウドメールのエイリアスとして割り当てます。ECCS クラウドメールのアカウントから組織ごとのドメインのメールアドレスでメールを送受信することができます。

一般ユーザへのエイリアスの設定は、UTokyo Account のユーザ名（共通 ID）で、利用ドメイン内でのメールアドレスのローカルパート（@ より前の部分）との対応付けを行うことができます。ドメイン管理インタフェースの Web インタフェース上で個別に設定する他、CSV ファイルのアップロードによる一括設定も可能です。

エイリアスの数に応じた利用負担金が発生いたします。

表 1　新旧サービスのアカウントの対応表

旧サービスアカウント種別	新サービス
admin グループ　アカウント	エイリアス
user グループ　アカウント	エイリアス
	転送
Alias	グループ
Mlgrp グループ（メーリングリスト）	

なお、UTokyo Account をお持ちの方は、どなたでも無料で ECCS クラウドメールを利用することができます。組織ごとのドメインのメールアドレスでメールを送信する必要がある方には ECCS クラウドメールの利用の設定をお願いしてください。

B）転送

UTokyo Account をお持ちでない方につきましては、組織ごとのドメインのメールアドレスから任意のアドレスへのメールの転送することが可能です。但し、メールの転送であるため、組織ごとのドメインのメールアドレスからメールを送信することはできません。ECCS クラウドメールは利用できるが転送だけ利用したい場合も、こちらを選択してください。

利用負担金は発生いたしません。

C）グループ

メーリングリストとして、組織ごとのドメインのメールアドレスとして利用できます。旧サービスのメーリングリスト、及び Alias 機能はこちらを選択してください。

利用負担金は発生いたしません。

旧サービスのアカウントは、MailSuite のドメイン管理インターフェースの [ユーザ情報出力] より CSV ファイルで出力できますのでご活用ください。この時、UTF-8 形式で出力をお願いします。

また、[エイリアス] の確認もお願いします。こちらも [エクスポート] により CSV ファイルに出力することができます。

4.1.2 組織ごとのドメインの DNS の登録

組織ごとのドメインを新サービスで管理するために、組織ごとのドメインの DNS の TXT レコードに TXT 確認レコードの登録をお願いします。TXT 確認レコードは、メールホスティング担当からドメイン管理者に別途発行いたします。

TXT 確認レコードは、以下のような文字列です。（サンプルです。ドメインごとに別

の文字列が発行されます）

google-site-verification=dEfdRkVbP8mRoXPZ-v…（中略）**…X-8TCjc**

メールホスティング担当が発行した TXT 確認レコードの登録を、ドメイン管理者から DNS 管理者に依頼してください。

4.1.3 組織ごとのドメインの SPF の設定

組織ごとのドメインの SPF レコードの設定をお願いします。MailHosting では次の広報（https://mh.itc.u-tokyo.ac.jp/announcement/2016/09/23_2325.html）のように SPF の設定をお願いしておりましたが、こちらに追加して次の文字列の登録をお願いします。

include:_spf.google.com

これによりメールを送信した場合に、受信者に受け取っていただける可能性を高くすることができます。

SPF の設定は、DNS 管理者が行います。ドメイン管理者から DNS 管理者に登録を依頼してください。

4.1.4 組織ごとのドメインの MX レコードの設定

これまでの準備が完了した後、組織ごとのドメインの MX レコードの変更をお願いします。MX レコードを変更することで､それ以後組織ごとのドメイン宛のメールは旧サービスではなく新サービスで受信されるようになります。

4.2 一般ユーザ

現在ご利用中のメールアドレスを、前述の「エイリアス」、もしくは「転送」としてご利用になります。どちらで利用されるかは、ドメイン管理者にご確認をお願いします。

エイリアスの場合は、組織ごとのドメインのメールアドレスでのメールの送信及び受信ができます。事前に共通 ID をドメイン管理者にご連絡ください。

転送の場合は、組織ごとのドメインのメールアドレスで受信されたメールを希望する外部のメールアドレスに転送します。事前に外部のメールアドレスをドメイン管理者にご連絡ください。

いずれの場合も、新サービスを利用可能になる日時は利用組織ごとに異なります。ドメイン管理者にご確認ください。

旧サービスで、MailSuite の Web Mail（https://ms.ecc.u-tokyo.ac.jp/）をお使いの場合やメーラで受信メールサーバを IMAP として設定している場合、受信したメールは旧サービスのメールサーバ上に保存されています。旧サービスが停止する 2020 年 9 月以降は過

去のメールを読めなくなるのでご注意ください。**今回の新サービスへの移行では、情報基盤センターはデータの移行を行いません。**必ず各自でメールデータのバックアップを行い、必要に応じて新サービスもしくは外部のメールサーバ等に移してください。バックアップの方法については、広報「MailSuite のメールバックアップについて」（https://mh.itc.u-tokyo.ac.jp/announcement/2016/07/05_2248.html）をご参照ください。

5　今後の予定

旧システムは 2020 年 8 月中に停止しますので、それまでに余裕をもって移行する必要があります。そこで、遅くとも 4 月中にメールホスティング担当から各利用組織に対して、移行予定日を通知します。

今回の MailHosting サービスの移行においては、各利用組織のドメイン管理者並びに一般ユーザの負担が大きくご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いします。

本サービスのご案内 Web サイト

https://mh.ecc.u-tokyo.ac.jp/

お問い合わせ用メールアドレス

mailhosting-support @ itc.u-tokyo.ac.jp

（教育駒場チーム・教育本郷チーム）